

書評

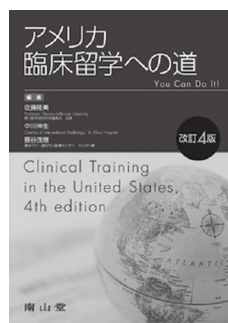
アメリカ臨床留学への道 You Can Do It!

2014年 改訂4版

Professor, Thomas Jefferson University / 野口医学研究所評議員会 会長 佐藤隆美 編
Director of Interventional Radiology, St. Mary Hospital 中川伸生 編
東京ベイ・浦安市川医療センター センター長 藤谷茂樹 編

「夢を描かなければ、その夢は実現しない」といわれる。これに倣うと、「アメリカで臨床をする」という夢を描かないと、アメリカで臨床医になることはできない。なぜアメリカで、海外で、臨床をすることがそんなに素晴らしいことなのか？日本と比べて、アメリカの臨床がすべてにおいて優れているわけでもないし、また、日本のなかで臨床研修を行い、専門医に成長していくことも決して悪くはない。それでも、アメリカなどの他国での研修をすすめるのは、違う文化に触れることが人間の成長に重要であることを知ってほしいからである。短期間の見学で見たり聞いたりすることと、実際に経験することは雲泥の差がある。実際に研修を行うことにより、単に医療制度の違いだけでなく、人間を形作っている文化の違いを実感する。

本書では、実際にアメリカで研修した執筆者により、本当にかゆいところに手が届くように、細かいことまでそのノウハウが説明されている。そしてそれを通読することにより、単なるノウハウではな



南山堂
定価：4,860 円
(本体 4,500 円 + 税 8%)
A5 判/463 頁
ISBN978-4-525-03004-9

く、執筆者たちの「心意気」を感じる。より高いところにのぼるべく渡米した者たちの心意気が伝わってくる。意気込みが書いてあるのではなく、まさに伝わってくるのである。

本書は改訂4版となっているが、3版の出版から9年の歳月がたっており、全面的に書き直されている。日本の医学教育も共用試験で CBT や OSCE が導入され、また臨床実習も参加型臨床実習が広く採用され、クラークシップといえるレベルになってきている。また、ECFMG のほうも多肢選択問題だけでなく、英語での臨床技能試験 (CS) が課せられるようになり、最新の情報が必要である。その意味で、まさに本書が上梓されるのに最高のタイミングであると思う。

本書により、医学生、研修医の諸君にとって、米国留学が単なる思いつきから確固たる将来像、「夢」になることを期待する。そうならば必ずやその夢は実現すると信じている。

北村 聖 (東京大学医学教育国際協力研究センター教授)